【湯川村】
校務 DX 計画

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議の提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」の自己点検の結果を踏まえ、湯川村の教育行政における教育 DX 化の推進向け、本村において次に掲げる事項を重点的に推進する。

記

１．校務系・学習系ネットワークの統合

現在、教育ネットワークを児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」、児童生徒が教育活動で利用する「学習系」の２つに分離し、校務用と学習用それぞれの端末を用意し使用している。

今後、「校務系」、「学習系」で異なっていたネットワークを一本化するとともに、教職員が使用する端末も一本化を実現するため、ゼロトラストセキュリティの考え方に基づき、校務系・学習系ネットワークの統合について検討を進める。

２．校務支援システムの導入検討

村立学校においては、令和７年度より県推奨の「統合型校務支援システム」の導入を予定している。

文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入にあたり情報収集を図るとともに、福島県及び県内の市町村教育委員会等と連携しながら理解を深め、次世代型校務支援システム導入に向けた検討を進める。

３．次世代校務 DX 環境の整備について

学校間や教育委員会と学校との連絡や通知は、メールや共有フォルダを利用するなど、業務の円滑化・効率化の観点から、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく。

また、ICT を活用して校務の効率化を図ることで、教職員の事務負担等を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保し、教職員の働き方改革を推進する。